

日本成長戦略 2026：飛躍への野心か、財政の危うさか

日本の新成長戦略：市場介入による特定産業育成の野心的な目標と、財政持続可能性への国内外の懸念を対比する。

戦略の骨子と野心的な数値目標

「責任ある積極財政」への転換

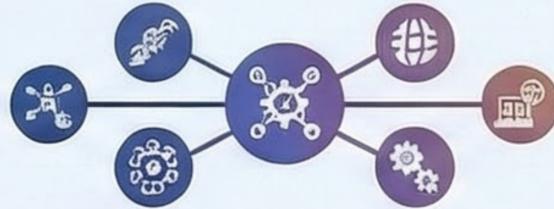


従来の
規制緩和重視



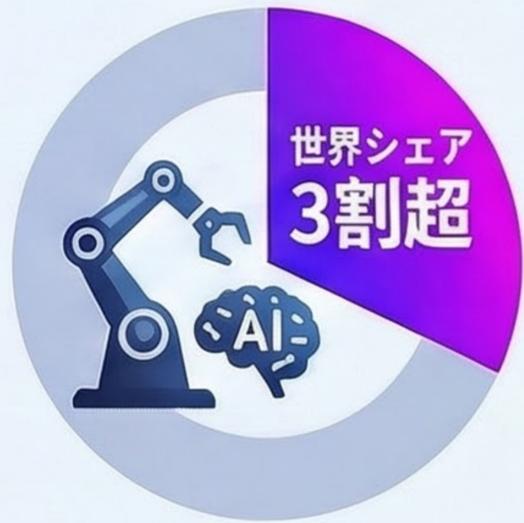
政府が市場へ直接介入し
特定産業を育成する
方針へ

17分野から61の
重点製品・技術を選定



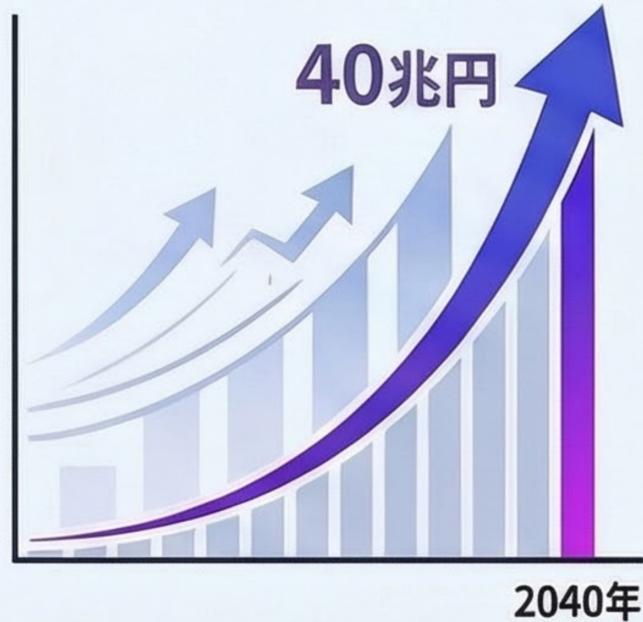
経済安全保障の観点から優先
支援対象を絞り込み、官民投
資ロードマップを策定。

AIロボット分野でも
世界シェア3割超
(20兆円市場)



20兆円市場 (野心的目標)

2040年までに国内
半導体売上40兆円



国内外の評価：期待と懸念の対立

市場の期待

財政の規律



市場の期待 vs 財政の規律

関連銘柄の株価は急騰したが、
企業の2/3は財政規律の緩みに
懸念を抱いている。

国際通貨基金明確な警告」
(IMF)

追加の財政刺激はイン
フレを助長する恐れが
あり、時限的な措置に
留めるべきと勧告。

「諸刃の剣」となる巨額債務

